

卒業生は今

●●● MAILBOX

亀谷 実央

国際英語学科 2011年卒

敷島製パン株式会社
(パスコ) 勤務

「超熟食パン」や「超熟イングリッシュマフィン」などのCMでもよく知られているパスコの利根工場で営業の仕事をしています。私の仕事は新製品を各店舗に紹介したり、イベントに合わせて、パンを使ったメニューの紹介や試食販売の企画を立てることです。店舗をまわって、どのような製品が売れているのか、消費者はどのような製品を希望しているかを調査したり、担当者の方の意見を聞くことも大切です。営業は大変ですが、お店と会社を結びやすいのがある仕事です。

鈴木 理紗子

史学科 2011年卒



私は今、サーティーワンアイスクリームの直営店の店長として働いています。アルバイトは約20人いますが、学生がメインなので、社会に出ても通用する事を教えられる様に心がけています。働いて一番大切だと思う事は、人との絆です。アルバイトとの絆はもちろん、直営店の店長達、本部の人達との連携をすることが店の向上と売上に繋がります。今、このように考えるのも川村学園での生活があったからです。今でも川村の友達に会うと本当に楽しいです。友達を大切にしようときたからこそ、今アルバイトの子たちを人として大切に出来ていると思います。ですから、アルバイトの学生たちには学生の時間は大切にしよう言っています。アルバイトを通して人を大切に出来る人間になっていってくれたらと思います。

渡辺 久絵

心理学科 2010年卒



私は、社会福祉法人よつば「よつば就労センター

ユイマール」で生活支援員を担当しています。今年で就職して3年目に入りました。その間、多くの就職を希望される方々の支援をし、そのご家族にも出会い、人生の一場面に触れさせていただきました。

ユイマールでは、一般就労を目指しているけど精神や知的の障害で、単独では就職活動が難しい方のために、ご本人が自ら課題や問題、障害等を解決し、就労生活が送れるよう側面的支援を行います。その内容は、生活相談や就労訓練、就職活動のために面接練習から履歴書の添削、面接同行、職場支援など多岐に渡

ります。また、就職し、ユイマールを卒業されても、職場等で困り事があれば支援を行います。

これまでに、たくさんの学ぶことがあり、今後も支援者として、成長していけるよう努めていきたいです。

庄司 豊子

日本文化学科 2009年卒



私は三年間の講師生活を経て、今年度本採用となり、現在、松戸市立古ヶ崎中学校に勤務しています。

初めて教師として教壇に立ったときは、思い描いていたものと、実際の教育現場の違いに戸惑いました。そして、授業をするうえでも、児童生徒との信頼関係の構築が一番大切になるということを実感しました。私は先輩の先生方や同僚に恵まれ、多くのことを学べる環境にいたので、分からないことや何かあった場合には、すぐに報告・連絡・相談をしていました。何事も受け身ではなく、自分から行動することが大切です。

多くの人と関わりを持ち、自分自身がよい人間関係を作ることを学生のときに経験することができてよかったと思います。それは、多くの人と関わりを持つことで、物事には様々な捉え方や考え方があることに気づき、私自身の視野を広げることができたからです。勉学で知識を身につけることはもちろんですが、自分自身の視野を広げることも重要となります。

最後に、教員に限らず、社会に出ると様々な年齢や身分の方と出会います。一人の大人として恥じないように、礼儀はしっかり身につけておくべきだと思います。

小池 文美

社会教育学科 2000年卒



フリーアナウンサーの道を歩みはじめて早や12年。CS放送のニュースキャスターや、プロ野球中継のレポーター等、これまで数々の現場で仕事をさせていただきました。

今は主に、J-WAVEニュースルームのアナウンサーとして、国内外のニュースをはじめ、交通情報や天気予報を、またテレビ埼玉では週末、県内のニュースをお伝えしています。

取材先での出会いや、ひとつのものを共に創る仲間との時間は、私の宝物です。

仕事との巡り合わせも一期一会。仕事私が私を選んでくれるようなしゃべり手であるよう、きょうも気持ちを引き締めてマイクの前に立ちます。

大島 沙織

生活文化学科 2011年卒



2011年3月に卒業し、

調味料メーカーに就職。大手コンビニエンスストアの調味料の開発を手がける食品開発営業部に入りました。コンビニ弁当のおかずにかける各種のタレやみそラーメン、冷やし中華のつゆの試作など、競合各社との受注競争の激しい中で、息の抜けない毎日でした。

しかし、将来の独立を目指して、栄養学の知識を実践的に生かすことのできるフードコーディネーターの道に進むことにしました。いずれはコンビニエンスストアのメニュー開発に取り組みたいと考え、私は今年4月からフードコーディネーターの資格を取得するため、専門学校に通い始めました。

趣味で活動している吹奏楽団では、副運営委員長に選ばれ、ホルン担当のほか、演奏会依頼の調整や楽団員のフォローなど、事務局の仕事も担って楽しく奔走しています。

高澤 章予

大学院生涯学習専攻 2010年修了



私は現在も都内の看護学校で教員として働いています。現在もというのは、大学院在学中もその仕事をしていたからです。週2～3日は教員で、残りは学生でした。働きながら学ぶということに不安はありませんでした。しかし、その不安から救ってくれたのは、先生方でした。教員という立場が共通項になり、悩みや愚痴も聞いていただきました。また、久しぶりに学生の立場になってみると、あらためて気づかされることが多々ありました。それは自身の教育活動を見直す機会になりました。そして改善すべきことはすぐに取り入れました。まだ教員としては未熟で、反省することが多い日々ですが、学生とともに成長していきたいと考えています。

編集後記

- 英国に留学した学生たちからは元気な便りが届いています。即位60周年の祝賀パレードも見にいったようです。(N.H.)
- 編集にあたり、花の写真をカットに使用しますが、T.S教授の作品です。感謝。(N.O.)

発行日/平成24年7月9日第32号発行
制作/川村学園女子大学広報委員会

花時計

No.32

川村学園女子大学

〒270-1138 千葉県我孫子市下ヶ戸1133番地
Tel.04-7183-0111 (代) Fax.04-7183-0115
ホームページ <http://www.kgwu.ac.jp/>

キャンパス



SONOKO KUMAGAI

門をくぐると特異な世界がひろがる
どこにもない世界
似ているとすれば
自然のふところに踏み入れたときのよう
幾千という地下の水脈が
目に見えず音も立てずに大地の底をはしり
やがてひとつの水脈にたどりつく

キャンパスにくり広げられるあまたの知識
いにしえからの人間の勇壮と悲哀
昨今明かされたばかりの科学や事実
はるかなる東と西からもたらされる驚異
それら見知らぬ学問どうしは
いつも一つに結ばれるのを待っている
人を知るといふ「知」のうちに結ばれるのを

知識の集積だけでは「知」に至れない
知恵と似ているようだがそれとも違う
知恵は人に行使されるが
「知」は隠れていて手なづけられることもない
透明の善意の熱い意欲に
引き寄せられて来るほかは

副学長 熊谷 園子

ふいに「分かった！」と息をのみ
教室中に熱気を帯びたじまがうず巻くとき
資料のなかに埋まった顔がとつぜん宙を見上げ
紅潮したまなざしで図書館の天井をみつめるとき
秘密の扉から「知」があなたを訪れているのだ
闇のなかに灯りをえたように
こころはただ嬉しい

つかの間の閃光だが
ひとたびその火をくぐったものは
こころに飲みの像をむすび
人生の辛く味気ない気分沈むときも
多忙のなかに自分を見失うときも
その記憶があなたを呼び戻して視野をひろげ
より深い人間へといざなうのを知る

キャンパスは
尽きない興味の水源
人間の可能性のネットワーク

あなたのいる今も
そして去ったその後も

25周年を迎えて

●●●FEATURE

川村学園女大学は25周年を迎えました！

川村学園女子大学が千葉県我孫子市に誕生したのは昭和63年4月のことですから、今年はちょうど25年目の節目の年になります。初めは、文学部3学科の単一学部での発足でしたが、平成3年度には教育学部3学科が、平成12年度からは人間文化学部（平成23年度から生活創造学部と改称）がそれぞれ増設され、現在、3学部9学科となっています。

また、平成11年には大学院として人文科学研究科修士課程（心理学専攻、生涯学習学専攻）が、平成16年には比較文化専攻（前期・後期課程）が増設されました。そして、台湾、イギリス、

ニュージーランドなどとの交換留学制度も始まっています。

平成23年度末現在、大学・院の卒業生数は約1万名を数えますが、社会の期待に応えるべく、教職員一同ますますの努力していきたいと考えています。皆さん方のご支援をよろしくお願い致します。



桜の木もこんなに大きくなりました

25周年にあたって ―退任教員の言葉

社会教育学科 教授 北村浩一郎

教育学部創設の頃

本教育学部創設の時、私は社会教育学科の学科長を拝命した。当時、私は、希望と共にいろいろな不安があった。特に社会教育学科という他に類のない学科名で学生は集まるのか。今まで未経験の女子大学でうまく指導できるか。未知の先生方と協力して学科をうまく運営できるかという不安が大きかった。やがて、学生募集は、当時、心配ないことがわかった。女子学生指導も自分なりに

だんだんと慣れてきた。学科運営もいろいろな問題を抱えながらも、諸先生方の協力により、不安が少しずつ解消されていった。そして、とにかく希望と活気にあふれ充実した日々を過ごすことができた。今から思うと、自分の職業生活の中でも、当時が一番生き生きとしていたように思う。



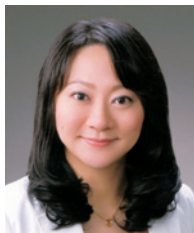
25周年にあたって ―卒業生の言葉

全日本空輸株式会社勤務 福島久美子

開学25周年おめでとうございます。緑豊かなキャンパスで楽しく学んだ日々が懐かしく思い出されます。私は卒業後国内航空会社に入社し、国内・国際線に勤務しています。お客様の価値観が多様化し、海外ベースのクルーとも乗務する中で在学中に学んだコミュニケーションや多様性の理解が、大変役立っています。また、先生方からは希望を叶える為に努力することの大切さ、努力し続ける為に必要な心の強さを学びました。素晴

らしい先生方、切磋琢磨し合える友人と出会えたことは大きな財産となりました。今後も建学の精神である感謝の心を忘れず、自覚ある女性として歩んでいきたいと思っています。川村学園の益々の発展を心よりお祈り致します。

〔1997年英語英文学科（現・国際英語学科）卒〕



開学25周年記念 川村学園女子大学公開講座のお知らせ

テーマ：女性と文化

期 間：10月20日（土）、10月27日（土）、11月10日（土）、11月17日（土）

定員80名。受講は無料。問合せは庶務課 04-7183-0111まで。駐車場あり。

10/20	開講の辞	副学長 熊谷 園子
	① 宮廷女房という生き方 ―『とはずがたり』の世界― ② 史料で読む和宮の生涯	今関 敏子 西川 誠
10/27	① ヴェールの文化史 ② ジマイマは森へ行った ―ピアトリクス・ボターの作品にみる女性の自立―	山本由美子 菱田 信彦
11/10	① 旅する女性作家 ―K.マンスフィールドの旅 ② 「女は天の半分を支える」―近現代中国と女性の労働―	手塚 裕子 高津 純也
11/17	① 光明皇后 ―皇女にあらざる皇后の苦闘― ② いのり、うたう、沖縄の女性たち	梅村 恵子 酒井 正子
	閉講の辞	佐藤 浩子

①13:00～14:15（質疑応答15分）休憩15分 ②14:30～15:30（質疑応答15分）

☆全8講座に参加された方には、修了証をお渡しいたします。



学 科 ニ ュ ー ス

●国際英語学科

4月13日に4人の学生がチチェスター・カレッジ留学のため成田を出発しました。交換留学生の学生は1年、3名は半年の留学です。「イギリス料理はまずい」との評判をよそにホストマザーの料理は美味しく、様々な国の学生と英語でコミュニケーションする素晴らしさ、そして文化交流の楽しさを実感しているそうです。Walk&Talkの授業ではハイキングしながら観察したことについて意見交換し友人の輪が広がっているようです。多くの人との出会いを通して国際感覚を身に付け大きく成長することを願っています。



●心理学科

今年度の心理学科のゼミも順調にスタートし、はや2ヶ月目に入りました。毎年、学生は本格的な専門領域の勉学の始まりを前に、当初は緊張気味でしたが、今は自分の興味に真剣に取り組んでいます。先月ゼミ内でゼミに対する希望をとりました。内容は、①自由な発想を尊重してほしい、②発言がしやすく和気あいの雰囲気、③自分の研究に対してゼミ仲間等から意見をもらい新しい発見を得て成長したい、などでした。今年度のゼミ発表のテーマは心理療法や心理テスト、神経症や精神病の概念そして人間関係のトラブル等々、臨床心理学領域の多方面に渡っています。このような感じで松原ゼミは力強くなおかつフレンドリーな雰囲気で現在進行中です。



●幼児教育学科

「幼児教育体験学習」の授業で1年生は野菜と花の苗植えをしました。汗をかきながら全員で協力して30cm下まで土を掘り起こし、畝を作るという一連の作業をした後、ミニトマト、キュウリ、ピーマンとマリーゴールド、ラベンダーを植えました。収穫を楽しみに育てていきたいと思います。このように、



幼児教育体験学習ではたくさんの「もの」や「ひと」と関わる体験を重視し、保育・幼児教育者として必要な基礎を学び、コミュニケーション能力を育むことを目指しています。

●児童教育学科

児童教育学科は今

児童教育学科は本年3月に第1期生を世に送り出しました。昨年度内に赴任先が決まらなかった一部の卒業生も、幸い5月までには全員の赴任先が決まり、教員免許を活かして小学校や学童保育施設などで活躍しています。



先日、学科を挙げての大カレーパーティーが開催されました。みんなで一緒に調理し、食べることで、学科のメンバーの絆が一層強いものになりました。

4年生は6月の教育実習、7月の教員採用試験と、大学生活の仕上げに、1、2、3年生も、将来の自分の姿を胸に描きながら日々勉強に、課外活動に、励んでいます。

●社会教育学科

「寺子屋」を開設

23年度からカリキュラムを一新した社会教育学科では、主に教員、公務員（専門職員）を目指すための特別授業が始まりました。単なる就職対策ではなく、大学生らしく広く社会に目を向けて、将来に繋げるための授業です。講義形式で行われる授業と、少人数にグループ分けをして行われる「寺子屋」がセットになった、授業の枠を越えた構成になっています。

自分の将来を拓くために、仲間と切磋琢磨しながら勉強をする。ゼミとは一味違う取り組みで、就職に強い新卒教の一期生を目指します。



●生活文化学科

備えあれば憂いなし！

生活文化学科では、昨年より実験・実習の授業中に大規模地震が発生した場合を想定し、独自に防災訓練を実施しています。避難経路の確認はもちろんのこと、実験実習中の薬品、火、包丁、ガラス器具などによる二次災害を防ぐ訓練もしています。地震発生時には薬品、包丁、ガラス器具などはどこに置くべきか、地震がおさまるまでは実習室のどこで待機すべきか、「おか・し・も」の合言葉を守って避難するなど、もしもの時にあわてず、冷静に対応するためにも重要な訓練と考えています。また、ライフラインが途絶えても、食材や調理器具が限られても空腹が満たせるように、災害時クッキングのレシピも冊子にまとめました。災害時でも活躍できる栄養士をめざして頑張っています。



●観光文化学科

我孫子駅前イルミネーション企画

毎年12月になると我孫子駅南口に出現するクリスマスイルミネーション。昨年は、観光文化学科3年生の有志7名が約2ヶ月前から企画運営会議に参加し、装飾デザインや資材の購入先の選定、飾り付けや、当日のイルミネーション点灯式の運営など、中央学院大学とともに幅広く参画させていただきました。

主催の商栄会（我孫子駅南口商店街）は学生の意見を尊重してくださり、市内小学生の願いを書いた竹灯籠を飾るといった新しい企画も実現できました。点灯式には本学のアカペラ研究会も出演し、クリスマスムードを盛り上げてくれました。



輝いている学生たち

国際英語学科 3年 原 千璃



私は今年の春休みに海外研修として、1ヶ月間ニュージーランドに行きました。1、2週目は語学学校に通い、3、4週目はインターンシップをしました。学校では、主に文法とリスニングの勉強をしました。クラスメイトの皆はフレンドリーで沢山話しかけてくれたので、すぐに仲良くなりました。放課後は、友達と色々な所に遊びにいき、本当に楽しかったです。インターンシップ先は日系の旅行会社で、仕事内容は難しいことが多く、英語で電話を受け取ったりと、とても勉強になりました。オークランドは自然いっぱい、素敵な街でした。I love NZ!!



幼児教育学科 3年 張替千種

DANCE WORLD 2012 HIP HOP 部門優勝
私は高校へ入り、ダンスに出会いました。高校を卒業してから、小学生にチアダンスを教えていましたが、自らもダンスをまたやりたいと思い、クラブチームに入りました。チームで1年間活動させていただき、数々の日本の大会で成績を残し、今回、世界大会へ推薦していただきました。

大会は、フロリダのディズニーワールド内で4月28・29日の2日間行われ、POM部門とHipHop部門へ出場しました。POM部門は6位、HipHop部門では優勝することができました。これからは、この経験を生かし、子どもにダンスを教えていきたいと考えています。

心理学科 4年 野地真理子

時間が流れるのはあっという間で、ついに4年生になりました。私の学校生活には、人との出会いというのが欠かせません。同じ授業をとっている友達とわからなかったところを教えあい、そこから自分の気がつけなかった視点に気がついたということもあれば、他学科の友達の話から視野の狭さに気がつかされることもあります。多くの人との出会いに恵まれたことだけでも、私はこの学校で貴重な時間を過ごせているのだと感じています。いったいどんな生活になるのかと不安に思っていたことが懐しくなるくらい、今はこの大学に通えて幸せです。



日本文化学科 3年 水口奈美

私は1年次からラクロス部に所属し、週に3回大学内のグラウンドで仲間と共に練習に励んでいます。

勿論それまでラクロスをしたことが無かったので、入部した時は色々不安な面もありました。しかし、先輩方の熱心な指導により、今ではとても好きになりました。ゴールキーパーをつとめ、また部長として、他大学との交流も活発におこなっています。特に関東学院大学とは合同チームとして3月の春合宿にも参加しました。

卒業生の方々との繋がりも深く、一回り違う先輩も練習のコーチとして教えるにきてくださることもあります。

その他に今年度は、友人と写真同好会を立ち上げました。大学生活をより充実させ、また川村の良さをアピールしていくつもりです。3ヶ月に1回テーマを決めて各自の作品を発表していく計画です。



児童教育学科 4年 佐久間彩佑里

私は、大学生活を通して様々なボランティアなどを行ってきました。昨年度は、「ちば！教職たまごプロジェクト」に参加し、1年間を通し児童の成長や先生方のチームワークの良さを傍らで見て感じ、学ぶことができました。現在は、公立小学校で通級をしながら通常学校で学ぶ特別支援を必要とする児童の支援を行うボランティアをし、現場で役立てられるように勉強しています。



社会教育科 4年 渡辺裕加



私は昨秋、情報科学技術協会が行っている情報検索基礎能力試験(通称サーチャー試験)を受け、合格しました。

サーチャー試験とは、学術情報などを検索し、検索結果の加工や評価、コンピュータ関連のITに関する知識や技能を問う試験です。サーチャー試験に合格したからと言って、特別なことが出来るようになるわけではありません。しかし合格するだけの勉強をして身につけた知識は、これから何かあったとき自分を助けてくれるものになると思います。



観光文化学科 4年 春日友里

私はツーリズム&ホスピタリティ研究会で昨年から我孫子市と共同で、我孫子のグルメマップ「あびっば」を作成しています。これは学内と我孫子市役所からのアンケート調査を元にしたものです。自分達でマップの構図を考えたり、実際にお店の写真を撮りに行きます。お店への手紙を送るなどやり取りも自分達でやります。その分大変な事もありますが、「あそこのお店美味しかったよ」「次号はどんなお店？」などの声を聞くともっと工夫してみよう頑張れます。学校の掲示板や我孫子駅前のアビシルベにも置いているので、是非見て下さい。

生活文化学科 2年 小林梓帆

私は3歳からバトントワリングを習っており、小学生から社会人までの約90人のチームに所属しています。バトントワリングとは、両端にゴム製のおもりをつけた金属の棒を回したり、空中に投げたりしながらパフォーマンスをするスポーツです。

今年の3月にはUSA大会という大きな大会に出場しました。大会では高校生や社会人などの14人で構成されたチームでしたので、全員そろった練習がなかなか出来ませんでした。それでも私達は自主練習や、全体練習で技術やパフォーマンス性を高める努力をしました。その結果、予選よりも高得点を得る事が出来ました。

私は、この大会を通じて一人の力がチーム全体になくってはならない存在だと気づき、改めて仲間の大切さを学びました。これからもこの経験を生かし学生生活に役立てていきたいです。



史学科 3年 田中真琴



私は、我孫子市平和事業委員会の学生委員として今年から参加することになりました。我孫子市は、平和事業として、小冊子「平和への祈り」を市内の小学校五年生に配布、広島平和記念式典への中学生派遣・発表会、映画「黒い雨」の上映などを行っています。また被爆者の会が作成した体験談を語るビデオ「平和への祈り」を学校・社会教育団体などに貸し出等をして、広く市民に知ってもらうためPR方法を検討しています。私は戦争を経験していない世代に、平和事業をより知ってもらうために、役員ではない市民も参加出来るような企画の提案をしていきたいと思っています。

ボランティアコーナー



●心理学科 4年 寺田有希

たんぽぽ教室の活動を通して

私は去年、我孫子市こども発達センターが主催する親子教室、「たんぽぽ教室」で1年間学生ボランティアとして活動していました。始めた当初は、小さい幼児とどのように接すれば良いのか悩みましたが、他のスタッフの先生方が親切に接し方な

どの方法を教えてください、とても助かったのと同時に勉強にもなりました。普段、幼児と接する機会がなかった為、首がすわって間もない乳児を抱いたり、幼児が自分の背よりも高い鉄棒で懸垂をしたりする光景を見るなど、毎回驚きの発見や体験の連続でたんぽぽ教室での活動はとても貴重な体験となりました。今後もたんぽぽ教室で学んだ事や体験をその場限りでなく、様々な場面で生かしていけたらと思います。

●SA (Student Adviser)

私たちSAは、学生さんたちに学年・学科問わず広く交流してもらうため、日常的に小規模なイベントの企画・運営を行っています。今年の4月に、履修登録相談会を行いました。この企画は、上級生が下級生に履修のことについていろいろなアドバイスを与えるものです。この企画の狙いは、上級生と下級生に交流を持ってもらい、少しでも履修登録する際に力になればと思い企画しました。昨年

の6月には学校の先生をお願いをしてバスタ教室を開き、12月には華道部さんに協力していただき、プリザードフラワーを行ないました。どの企画にもたくさんの学生さんに参加していただきました。これからも私たちSAは、多くの学生さんが交流できるような場を設け、楽しいイベントを企画・運営していきたいと思っています。



ふるさと紹介

●史学科2年 管野沙織

私のふるさは福島県の桑折町という小さな町です。周囲に山と川があり自然が豊富で、果物、野菜、米がとてもおいしいところです。桑折町には江戸時代頃からある西根堰という用水路が流れ、稲作などにとても役立っています。水がきれいなので夏には蛍がたくさん飛ぶホタルの里という場所まであります。また私の住んでいた地区では山からのきれいな水を引いて飲み水としても使っています。私はこんなふるさとが自慢です。



●観光文化学科4年 森谷紘子

私の故郷、福島県いわき市にあるスバリゾートハワイアンズは昨年の3月に起きた東日本大震災で被災しました。さらに一ヶ月後の4月に起きた直下型地震によりウォーターパークが大きなダメージを受け休業を余儀なくされました。そして今年の2月、復旧の甲斐あってついに全面再開することが出来ました。震災前と比べると客足はまだ少ないですが、新しいホテルが完成し少しずつ以前のような賑わいを取り戻して欲しいと思います。



クラブ活動報告



●茶道部 史学科4年 金子友紀

茶道は「堅苦しい」と思うかもしれませんが、部員が集まればいつも賑やかです。私たちは、月3回、水曜日に菊池、黒田両先生の指導のもと裏千家のお点前を稽古しています。浴衣を着て行う夏稽古、学園祭でのお茶会として新年の初釜、様々な行事を通して日本の伝統や礼儀作法を学び、「和」の心を大切にし、何よりも美味しいお茶とお菓子を味わっています。初心者も経験者も1年から4年まで学科の垣根を越え皆で楽しく活動しています。



●オリジナルMAKING

私たちオリジナルMAKINGは、ものづくりを通して、部員たちの絆を深めています。同時に、自分自身の「ものづくり」を楽しむ心を形に表現します。自身のファッションのワンポイントにしたり、友人の贈り物にしたりして、自他ともに笑顔になれるような「ものづくり」をしています。

オリエンテーション レポート

国際英語学科

国立新美術館で「セザンヌ―パリとプロヴァンス」展を鑑賞し、その後、近くのカフェでデンマーク料理のランチを楽しみました。お互いに自己紹介したり、先生に質問したり、店の外国人スタッフと仲良くなったりと盛り上がりしました。



史学科

史学科は、1年生、補助の3年生、教員とも全員参加、2台のバスで栃木市に向かいました。巴波川沿いの蔵の街を散策して江戸時代へワープ、次に下野市の県立しもつけ風土記の丘資料館で古代の下野国を偲びました。



次は下野市の県立しもつけ風土記の丘資料館で古代の下野国を偲びました。

心理学科

心理学科では、新入生と教員がガイダンス最終日に茨城県笠間市の笠間芸術の森公園までバスで移動して親睦を深めました。好天に恵まれ、屋外で昼食を取ったり、陶芸制作を体験しながら交流を深めることができました。大学生生活の第一歩として、有意義な一日を過ごすことができました。



日本文化学科

4月5日に、留学生の呂宛芸さんと共に佐倉の川村美術館見学後、館内のレストランにて昼食会をしました。内外の古典名画に加え、現代絵画、抽象絵画の特別展示も充実しており、オシャレな売店と素晴らしい庭園の散策も忘れがたいひとときでした。4月25日にも学内にて「その後、元気でやってますか」と昼食を共にしました。



幼児教育学科

幼児教育学科は、船橋アンデルセン公園へ行きました。キャンドル作り、親指姫スタジオ見学後、4年生の引率でグループごとに公園内を散策しました。公園内の子どもやこれからともに学んでいく仲間、先輩、教員との交流を楽しみました。



児童教育学科

今年は、「江戸東京博物館、ホテルでのランチバイキング、浅草」という行程でした。江戸～昭和の時代を再現した建物や展示物を見学、25階のレストランで満開の桜を眼下にご馳走で満腹！揚げ饅頭やアイスクリームの誘惑と戦いながら仲見世通りの賑わいや店頭ショッピングを楽しみました。新しいクラスメートとすっかり打ち解け、充実した一日となりました。



社会教育学科

社会教育学科は桜満開の上野公園に集合。午前中は「国際子ども図書館」を見学。フレンチの昼食の後は「東京国立博物館」へ。銭谷眞美館長の講話に続いて、特別展「ポストン美術館 日本美術の至宝」を鑑賞。文化の薫り高い一日を過ごしました。



生活文化学科

生活文化学科ではカップヌードルミュージアムでインスタントラーメンの父である安藤百福のCreative Thinkingを学ぶとともに、その体験として世界でひとつだけのマイカップヌードルを作りました。その後、横浜赤レンガ倉庫にあるフィッシャーマンズマーケットで昼食をとりました。カップヌードルを「作る途中が分かって楽しかった」、「食べるのがもったいない」と作ることと食事を共にすることで親睦が深められ、みなとみらいや大さん橋周辺の素晴らしい風景の中で楽しい時間を過ごしました。



観光文化学科

観光文化学科では、ハローキティのはとバスでお台場、国会議事堂、皇居などを見学しました。その後ホテルメトロポリタン丸の内27階のレストランで景色と美味しい料理を楽しみ、客室などの施設見学をしてホテルの方のお話を聞くことができました。



新しい顔

FROM CAMPUS

新任教員



吉武 民樹
(教授)
生活文化学科



竹内 啓
(講師)
幼児教育学科



藤川志つ子
(講師)
幼児教育学科



齋藤 慶子
(講師)
児童教育学科



佐藤 哲康
(助教)
心理学科



津野 宏之
学生生活支援室



安達 玲南
教務補助職員

新任職員

異動教員

田中 裕 (教 授) 情報C学科→心理学科
戸澤 純子 (教 授) 情報C学科→観光文化学科
原田 耕平 (教 授) 情報C学科→児童教育学科
山口 善久 (教 授) 情報C学科→社会教育学科
松井 浩 (准教授) 情報C学科→児童教育学科

教員の退職

心理学科 川原 正人 (助 教)
幼児教育学科 葉山 登 (准教授)
児童教育学科 上橋菜穂子 (教 授) (特任教授へ)
児童教育学科 田中 美智 (教 授)
児童教育学科 岡村 豊 (教 授) (特任教授へ)

B O O K S

川崎恵里子 共著 (心理学科 教授)
中島義明編
『現代心理学〔事例〕事典』

●2012年4月発行
●朝倉書店



酒井正子 共著 (日本文化学科 教授)
『語りの講座；昔話を知る』

●2011年11月発行
●三弥井書店



福永淑子 共著 (生活文化学科 教授)
大坂佳保里 共著 (生活文化学科 准教授)
『新版 食べ物と健康
—食品学各論—』

●2012年3月発行
●八千代出版株式会社



川崎恵里子 編著 (心理学科 教授)
『認知心理学の新展開
言語と記憶』

●2012年2月発行
●ナカニシヤ出版



酒井正子 共著 (日本文化学科 教授)
『歌の起源を探る；歌垣』

●2011年12月発行
●三弥井書店



高橋裕子 掲載
(生活文化学科 講師)
『美術年鑑 2012』

●2012年1月発行
●美術年鑑社



表彰 『世界舞踊祭 2012 Dance for All賞』受賞

幼児教育学科 森田玲子 (教授)

2012年1月、記念すべき『第10回世界舞踊祭』が港区赤坂区民センターにて開催された。本学ダンス部OGは『東日本大震災 復興への祈り』をテーマに、森田の恩師である Mrs. Hortense Kooluris と美咲安里先生に捧げるイサドラ・ダンカン・ダンス『アベ・マリア』『パッカナール』を踊った。出演：石井あや (旧姓 高城：生涯学習大学院卒) 濱田梢 (旧姓 栗原：心理大学院卒) 塚本千鶴 (心理卒) 佐藤朋子 (幼児教育卒) 沼崎まき (史学卒) 齊藤ゆり (旧姓 尾崎：心理大学院卒) 金山真理絵 (幼児教育卒)。スタッフ：板垣みき (社会教育卒) 松本千鶴 (心理大学院卒) 小関まりえ (心理大学院卒)。出演者7名のうち4名が母となり、仕事の傍ら、心をついに猛稽古をして本番に臨んだ。



学園祭 《鶴雅祭》についてのお知らせ

今年は10月20日(土)と21日(日)の両日に開催を予定しています。是非、より多くの皆様方にご来場いただきたくご案内いたします。卒業生や同窓会の方も奮ってご参加ください。お待ちしております。



卒業生のみなさんへ

ホームカミングデーを開催いたします。ご家族でお越し下さい。
と き 10月21日(日)
鶴雅祭 2日目 11:00より
ところ 本学 我孫子キャンパス